弘前城天守は
石垣改修に伴う
曳屋工事により
77.6メートル
移動しました！

弘前市マスコットキャラクター『たか丸くん』

参画だより

No.59
2016.7.31
弘前市民参画センター

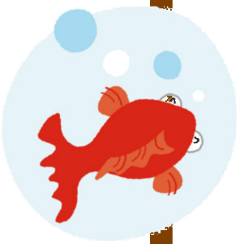
PICK UP！

男女共同参画の視点で読む

世界の格言・名言

あなたの持っているものを使って
あなたのいるところで、
あなたができることをやりなさい。

セオドア・ルーズベルト



弘前市民参画センター事業紹介
「第５回市民ボランティア交流まつり」
「平成27年度　第３回ひとにやさしい社会推進セミナー」　Ｐ２
おとこの気持ち聞いちゃいました「長生きの秘訣は車とカラオケ」　Ｐ３
さんかくひとりごと「それぞれの生き方に思う」　Ｐ３
まなぼ「弘前市男女共同参画プラン」改訂　Ｐ４・５
男女（ひと）・団体（グループ）紹介「セミナー・ハンサムウーマン」　Ｐ６
利用者・利用団体紹介「弘前日中友好の会」　Ｐ７
本の紹介「なぜあの人の話し方は『強くて美しい』のか？」　Ｐ８
利用者インタビュー・センターからのお知らせ　Ｐ８

第５回市民ボランティア交流まつり

２月14日、ヒロロスクエアで「市民ボランティア交流まつり」を開催しました。日頃、市民参画センターやボランティア支援センターを利用しているボランティア団体、趣味のサークル、社会福祉法人など37団体と個人が参加し、展示や活動発表を通じて市民と交流を深めました。

活動発表会では、音楽サークルや市民の朗読ボランティアグループなどが楽器演奏や絵本の読み聞かせを披露し、活動をＰＲしました。

活動をパネルで紹介している展示コーナーでは、スタンプラリーも開催しました。自然保護団体や中国語ボランティア団体、家事研究グループなどの展示を見て回り台紙にシールを貼ってもらうと、市民から提供された景品と交換できるとあって、たくさんの人が参加しました。

体験コーナーでは、ハンドマッサージや絵手紙、押し花を体験する来場者や、人気の「アートバルーンはまちゃん」には仕上がりを待つ親子の行列ができました。

会場では、福祉施設などで作られたパンやお菓子、ストラップなどの小物販売もあり、来場者はお目当ての品を買い求めていました。

平成27年度第３回ひとにやさしい社会推進セミナー

「今からでも遅くない！人を好きになるコミュニケーション講座」

３月11日、市民参画センターで、平成27年度第３回ひとにやさしい社会推進セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、ＮＰＯ法人「Ｒ・ぷらっと」に所属し、児童や学生向けのキャリア教育の活動をしている中澤倪志さんが講師を務め講演しました。

中澤さんは、「自分も以前はコミュニケーションに苦労してきた。若い人はコミュニケーションが取れたほうが生きやすくなると思う。今日はコミュニケーションで信頼関係と仲間作りを体験して欲しい」と挨拶。以前の自身について、「自分の考えが伝わらない、分かってもらえないと悩んだ。でも、分かってもらう努力、相手を分かろうとする努力をしてこなかった」と述べました。ＮＰＯ活動など地域と関わり、一人では何もできないと感じたことで自分が変わったと語った中澤さんは、「今は、他の人が違う視点で、違うやり方をしているというのがとても興味深く面白いと感じる。一人でやれることは限られている。人を好きになってもらいたい」と話しました。

講演に続き行われたワークショップでは、来場者がチームを作りゲームを行いました。「しりとり列車」では、全員でコミュニケーションをとり議論をすることで成果が上がること、「スクエアゲーム」では、言葉以外でコミュニケーションをどう図れるかを体験しました。

中澤さんは、ゲームの解説をしながら「コミュニケーションには双方向性が大事。相手のことを思いやり、相手のために何ができるか。提供し合えば嬉しいし、信頼関係に繋がる。仕事でも、チームの信頼関係が大きければ効率が上がり、ゴールに近づく近道になる」と述べ、共通体験の必要性を語りました。参加者は実際に楽しみながらコミュニケーションの在り方を学んでいました。

ワークショップの様子
ゲームに取り組む参加者を見守る
中澤さん

おとこの気持ち聞いちゃいました

80代・無職・既婚

Q．毎日ゲートボール三昧ですが、リーダーとして女性選手に指示する言葉は違いますか？

A．違うね。語気は柔らかく、でも指示ははっきりいうことにしている。

Q．男女共同参画という言葉を聞いたことがありますか？

A．聞いたことはある。でも内容はあまりわからない。

Q．手伝っている家事はありますか？

A．朝、昼の茶わん洗い、坪木の手入れ、庭仕事は決まっている。

Q．奥さんとはどうやって知り合いましたか？

A．子どものころから知っていたので親戚から言われて、即ＯＫ（奥さんのほうをむいて）。

Q．弘前の街の中で、よく行った思い出の場所は？

A．弘前公園かな。車で遊びに行った帰り、「梅林（ばいりん）」の支那そばを食べた。

Q．運転歴は？

A．20代の頃から自分の車で県内は隅々まで回ったなーっ。バイクも好きで、ツーリングで皮ジャンが破れるほどの事故もやったけど、気にせず生きている。

Q．女性の政治家をどう思いますか？

A．もっと増えて、大いに活躍してほしい。

Q．これからの女性に望むことはありますか？

A．ゆっくり考えて物事を決めてほしい。

インタビューを終えて

～長生きの秘訣は車とカラオケ～

退職後大病をしたが、ゲートボールで県内の会場を回ることと、反省会でのカラオケは病気のリハビリになっているようである。体の弱い奥さんを気遣って見えるが、それが普通のことのようだ。戦前生まれの人にしてはとてもフェミニスト。現在は健康で娘さん夫婦と同居している。“長生きで幸せな日々”とはこの人のことをいうのかも。

梅

それぞれの生き方に思う

さんかくひとりごと

団塊世代の男性たちが子育てボランティア

たまたま見ていたテレビで子育てボランティアをしている男性たちが紹介されていた。子どもたちに絵本の読み聞かせをしたり、一緒に歌ったり、遊んだりしている。参加しているのは就学前の子どもとその親たちで、親世代と同居していない核家族の親子がほとんどである。子どもたちはおじいちゃん世代の人との交流ができ、親たちは自分の親世代の人との交流ができる。ボランティアたちは仕事が忙しくて自分の子育てができなかった世代で、今子育ての醍醐味を味わっているというところだ。私たちの周りにもボランティアできる人、ボランティアを必要としている人たちがいそうだな…。

「リケジョ」に続く「ドボジョ」や「ノケジョ」と呼ばれる女性たち！

理系女子～リケジョ、土木女子～ドボジョ、農系女子～ノケジョが話題になっている。自分の進みたい道をまっすぐに進もうとする彼女たちにエールを送りたい。自分たちが若い頃には考えも及ばなかったような場所で女性たちが活躍し始めている。その姿は輝いて頼もしくなんと誇らしいことか。見ていて本当に気持ちがいい。

次々と退職を迎えている団塊の世代の男性たちにスポットをあてたテレビ番組に「なるほど」と思った。我が家にも子育てをしそびれた人が一人いる。孫も近くにいないので孫育てもできない。時々送られてくる孫の動画に話しかけるのが精いっぱいだ。

の一部が改訂になりました

あふれる弘前の実現　～

多様性を認め、性別に関わりなくすべての人にとって生きやすい男女共同参画社会
かし、人口減少や超高齢化社会の到来、財政状況の深刻化など、市を取り巻く社会
発展を実現するため、平成26年５月、新たな最上位計画となる「弘前市経営計画」
計画」との整合をとり、内容の一部改訂を行いました。

５ページよりつづく

（成果目標　改訂後）

○市の男性職員の配偶者出産休暇取得件数を15件（H26年）から22件（H29年）、育児参加休暇取得件数を６件（H26年）から７件（H29年）、看護休暇の取得件数を59件（H26年）から59件（H29年）
○市の男性職員の育児に係る時差出勤制度の利用件数を０件（H26年）から３件（H29年）

基本目標Ⅳ　地域社会における男女共同参画の促進

（成果目標　改訂前）

○自主防災組織結成率を７％（H22年）から20％（H25年）
○女性消防団員数を19人（H23年）から30人（H28年）

（成果目標　改訂後）

○小学校区域内に自主防災組織がある小学校区の割合を47.2％（H26年）から77.1％（H29年）
○防災マイスター認定者数（累計）を107名（H26年）から240名（H29年）
○弘前市ボランティア支援センターでの紹介件数【うち男性件数】を191件【 48件 】（H26年）から222件【 56件 】（H29年）　　※震災関連は除く

基本目標Ⅴ　一人ひとりの人権が尊重される社会の形成

（成果目標　改訂前）

○各種がん検診の受診率を19.1％（H21年）から24.1％（H25年）
○公共施設における受動喫煙防止対策実施施設の割合を97％（H22年）から100％（H25年）

（成果目標　改訂後）

○ＤＶ予防啓発セミナー等の受講者数（累計）を16人（H27年）から300人（H29年）
○がん検診受診率を20.8％（H24年）から24.1％（H29年）
○男女の喫煙率を男性37.2％（H24年）から30.2％(H29年)、女性13.0％(H24年)から9.0％(H29年)
※子どもたちをたばこによる健康被害から守るため、数値の減少に向けた対策を推進

「弘前市男女共同参画プラン」

～　一人ひとりの笑顔が

弘前市は、市民一人ひとりの自己実現を可能にするために、個人の生き方や価値観の
の実現をめざして、平成24年３月「弘前市男女共同参画プラン」を策定しました。し
経済環境はここ数年で大きく変化し、市はその変化に迅速に対応し地域の持続的な成長・
を策定しました。これを受けて、本プランのより一層の推進を図るため、「弘前市経営

〈　改訂内容　〉

（１）計画期間の改訂
平成24年度～平成28年度まで⇒平成24年度～平成29年度まで
※「弘前市経営計画」と同様にした
（２）主な取り組みとしていた事業内容の見直し
（３）基本目標ごとの成果指標の改訂

基本目標Ⅰ　政策・方針決定過程での男女共同参画の促進

（成果目標　改訂前）

○公募可能な審議会等における公募実施割合を19%（H22年）から100%（H25年）

（成果目標　改訂後）

○市の管理職に占める女性職員の割合を7.7%（H27年）から10.0%（H29年）

※１　管理職とは、一般行政職の管理職をいいます。
※２　当該成果目標の数値は、市として、女性が活躍できる環境の整備に向けてチャレンジするため、「女性活躍推進法」による市の目標値設定までの暫定値として設定したものであり、それにより、市内の企業の取組についても期待するものであります。

基本目標Ⅱ　男女共同参画社会形成への意識づくりと定着

（成果目標　改訂前）

○「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない割合を46.6%（H22年）から50%以上（H28年）

（成果目標　改訂後）

○性別による固定的役割分担の考え方に同意しない市民の割合を51.1%（H25年）から55.0%（H29年）
○弘前市民参画センターが実施したセミナー等事業の参加者数を744人（H26年）から807人（H29年）

基本目標Ⅲ　職場、家庭における男女共同参画の促進

（成果目標　改訂前）

○家族経営協定締結数を60組（H23年）から100組（H25年）
○市男性職員の育児休業の取得者数を１人（H23年）から２人（毎年度）

「セミナー・ハンサムウーマン」

～つながる、学ぶ、行動する～

三代目代表　田中弘子さん

平成6年2月に発足した「セミナー・ハンサムウーマン」は、初代代表一戸泰子さん（元青森県障がい福祉課長・社会福祉法人　抱民舎初代理事長）が、世代を超えて異業種の方やいろいろな分野で活動している方たちとの情報交換と、学びの場をつくりたいという熱い思いからスタートしました。

セミナー・ハンサムウーマンというネーミングは、当時NHKテレビで放送していた働く女性たちのトーク番組「ハンサムウーマン」から、学びも大切ということで、セミナーをつけて名付けられました。ハンサムウーマンとは、「知的で社会に積極的に関わろうとする姿勢があり、自分の責任において行動し、何があっても他人のせいにしない潔い人たち！」という意味もあります。

平成12年11月　北ドイツエカンフェルデ市へ
「日独草の根文化交流の旅」

現在、登録している会員は男女72名ですが、偶数月の第4水曜日夜に20名～25名が集い、ゲストから学び、情報交換をしています。会場は、会員経営のリエゾン・インドリヤ・どて箱を交互にお願いして、会費（飲食代）三千円で楽しいひと時を過ごしています。休会していた方が数年ぶりに参加したり、出入り自由なのも継続の秘訣かもしれません。五所川原市から参加した方たちは、同じ会を五所川原市で立ち上げています。

平成22年11月
東京タワーで「弘前りんごまつり」

22年前は、ゲストのお話を聞きながらの飲食はどんなものか？という意見もありましたが、ともに食事をすることで心がゆったり楽しくなるのでは？ということになりました。今までお願いしている百三十名以上の謝礼なし、飲食もOKのゲストからは、断られたことがありません。ゲスト選びは会員のネットワークからお願いし、そのまま会員に登録された方も沢山います。

大きな活動は、会員のネットワークから、平成12年11月北ドイツ、エカンフェルデ市へ会員18人で参加。津軽の民芸工芸展を開催した「日独草の根文化交流の旅」は、陸奥新報に10回シリーズで掲載されました。平成22年11月は、東京タワーで「弘前りんごまつり」を開催。平成23年8・11月には、東日本大震災復興支援「弘前実業高校生作成のひばの枕」を岩手県災害支援拠点施設『遠野まごころネット』へ届け、その活動が東奥日報で紹介されました。

世代を超えて学び、出会ってつながって新しい人間関係から、各自が独自の活動を創りだしながら地域活動をコラボレーションし、ネットワークという「ちからコブ」のスキルアップと社会貢献する仲間の会は、実に楽しい会です。

平成23年８・11月　東日本大震災復興支援
「弘前実業高校生作成のひばの枕」

弘前市民参画センター利用団体紹介

弘前日中友好の会・会話教室

一年後には中国語が話せるように…

「an, ang…」
発音練習に取り組む受講生

観光都市としての発展を目指す弘前市は、弘前公園のさくらまつりをはじめ、りんご公園、あるいは小京都とも呼ばれる城下町の風情を求める多数の観光客が見られるようになりました。特に本年三月からの北海道新幹線の開通は観光客の増加に拍車をかけ、県内を訪れる観光客は、昨年度は十万人を超え、国別内訳では、中国、台湾、香港、タイと、東南アジアなどの40パーセントを筆頭に、さらにはアメリカ、ヨーロッパと多彩。こうした中にあって、せっかく当市を訪れる観光客にせめては「ようこそ弘前へ」と挨拶程度でも会話が出来ればと、そんな願いを込めて誕生したのが、私たち「弘前日中友好の会」の「中国語会話教室」です。

日本語中国語チャンポンの会話が弾む、
楽しい交流会風景。
（６月19日宮川交流センターにて）

会話教室は本年一月からスタート。講師に弘前大学大学院留学生を迎えて毎月第二、第四の火曜日。さらに第一、第三の火曜日は、受講生のみの復習中心の勉強会を実施しています。

◆多士済済の受講生

会話教室は本年一月開講以来、六月ですでに十五回の講座を実施してきました。参加する受講者は多彩、最年少は現役の大学生から、最年長は八十歳の現役ドクター、さらには、元高校教師、また、異色はご夫婦で受講する夫婦共学などで、ご婦人五名を含む二十名参加者のほとんどが開講以来、皆勤という熱心な学習を続けています。

弘前日中友好の会・会話教室に関心のある方…

毎週火曜日（PM６：00〜８：00）参画センターで開催の受講風景を見学、また友好の会についての内容を知りたい方は、講座に参加している事務局員に問い合わせてください。

事務局員＝神、成田、小野

諾敏さんから中国の家庭における、餃子の作り方を教わる会話学習初体験の参加者

講師紹介
諾敏（だくびん）さん
弘前大学・大学院２年生

※諾敏さんは中国黒竜江省出身、27歳。吉林省、延吉大学卒業後、同大学 - 弘前大学の交換留学生として来弘、同大学人文学部で経済専攻、履修、本年10月卒業見込。

センター利用者に突撃インタビュー

６０代・男性

◆センターの利用目的と利用頻度は？

私が代表を務めている「ひろさき環境パートナーシップ21」は弘前市と協定を結んでいます。企画したイベントなどを開催するのに月１～２回使わせてもらっています。

◆センターを利用してみた感想をお聞かせください。

２階は予約なしで、いつでもだれでも自由に気楽にお茶を飲みながら打合せができるのがいいです。

◆センターに要望はありますか？

１階の駐車スペースが狭いです。２階は高校生が勉強のため使っていて、そういう場所があるのはいいですが打ち合わせのときに使えないことがあります。３階は隣のグループの声が聞こえてきて、困ったことがありました。改善する難しさはあると思いますが、利用者の声を聞きながら徐々に改善策を考えてもらえたらと思います。

◆「男女共同参画」についての感想をお聞かせください。

まだ「男女」がついているのは古いと思いますので削除してもいいと思います。「共同」も「協働」の漢字の方があてはまるのではないかと思います。生活している中で一緒に働き、協力していくのがいいと思いますよ。

◆「今一番」の楽しみは何でしょうか？

弘前近辺の山に咲いている植物や生き物を見て歩くのが好きです。特に絶滅危機になっている植物が個人の利益のために盗掘されるのがとても悲しいです。昔は間近で見られたのに盗掘のために絶滅になるのは残念です。環境を整えてあげて、子どもを含めて市民みんなで楽しみ、それを観光にもつなげられればと思います。そのためには一人ひとりが意識したいです。

植物や生き物の写真を見せていただきました。きらきら目が輝いて説明してくれたお話が、生きて行く中でも大事なことと考えさせられました。絶滅の危機にある植物が個人の利益のため次世代に残せない悔しさをみなさんに知ってもらいたいです。　by　のん

本の紹介

タイトル

「なぜあの人の話し方は『強くて美しい』のか？」

著者　大嶋利佳　　発行所　明日香出版社

～言葉の力はその人の心に作用する！～

日頃から「人は誰かとの交流がなければ生きていけないものだ」と思っている自分にとって、人とのコミュニケーションは避けては通れないことである。しかし、いろいろな場面で戸惑うことも多い。相手の意図することを理解できなかったり、自分の思いが相手に届かなかったり、誤解が生じてしまったり…。ちょっと気持ちが下向きになったとき、引っ張り出してくるのがこの本である。

強く美しく話す人は何が上手かというと、「聞き上手」だという。上手な聞き方を身につけるためのコツが詰まっている。「なかなかこのようにはいかないよなぁ」と思っても、これを知っているのと知らないのとでは天と地ほどの差があるのでは？

深く聞くことで相手をもっと理解できる。積極的にうなずいて、励ましの表情で、タイミングよくバリエーション豊かなあいづちをうって、と言葉にすると簡単でもなかなかできることではない。でもほんの少し努力してみると何かが変わるような気がする。

また、ミスをしたときの謝罪についても「なるほど！」と思った。素直に詫びる、反省の気持ちを伝える、感謝の気持ちを伝える、３回はお詫びをしようという。自分が謝罪を受ける側だったら、このような謝罪をされたら、その人に好感を抱くし信頼もうまれるだろう。

日常生活の中で欠かせない挨拶や返事の意味、無神経な同僚や、セクハラ・パワハラをする上司への対応など、豊富で興味深い内容の本である　　　　　　　by　komori

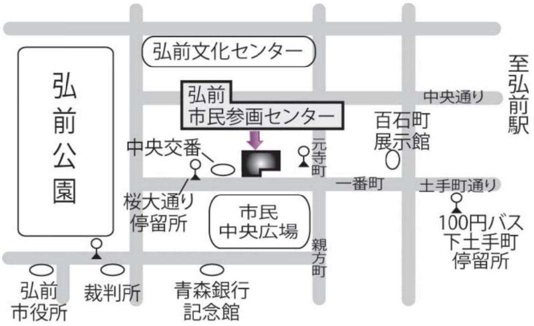
編集後記

夏になってきましたね！ニュースでは今年の夏はとても暑くなるとのことでしたので、ちょっと憂うつです…。水分・休養（と心の栄養）をしっかりとって、無理せず自分のペースで今年の夏も乗り切りましょう！塩飴もいいですね☆皆さんは夏と冬、どちらがお好きですか？？　　by　yoshino

●臨時休館

市民参画センターは
８月22日（月）・23日（火）の２日間、
施設点検等のため休館します。

【参画だよりに関するご意見、ご感想をお寄せください】

弘前市民参画センター

〒036-8355 弘前市大字元寺町1番地13
TEL 0172-31-2500
FAX 0172-36-1822
開館時間　9:00～22:00
休館日　12月28日～１月３日
http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sankaku/